

## 授業概要

テキストを中心に図書館情報学の入門として、生涯学習の観点から図書館活動の各領域に関する多様な知識や概念の基礎的なコンセプトを総合的に理解することをめざす。必要に応じて、ビデオ視聴、グループディスカッションなども取り入れる。授業の初めに、前回の授業の簡単な確認テストを行うことにより、知識の定着をはかる。

## 授業計画

第1回	図書館学ガイダンス、図書館とは何か（図書館の意義、種類、ネットワーク、図書館職員、ほか）
第2回	現代社会と図書館（生涯学習、情報環境・教育観の変化、危機管理、他）
第3回	図書館の理念、出版・著作権（出版文化と図書館、著作権、図書館の自由、他）
第4回	図書館の理念と図書館員の職務
第5回	図書館法規と行政
第6回	地域社会と公共図書館（制度・機能）
第7回	学校図書館の制度と機能
第8回	大学図書館の制度と機能
第9回	国立国会図書館及び専門図書館の制度と機能
第10回	図書館の歴史①（古代～中世）
第11回	図書館の歴史②（近世～現代）
第12回	外国の図書館アメリカ、イギリス、北欧、中国等
第13回	図書館の類縁機関・関係団体
第14回	図書館の挑戦と課題（ケース・スタディ）
第15回	総まとめ
第16回	筆記試験

## 到達目標

本授業は、図書館学の基礎を学び、生涯学習施設の一つである図書館についての基本的な知識や概念の習得を目的とする。

## 履修上の注意

- シラバスの内容は、進行状況に応じて前後することがある。
- 毎回の授業のレジュメはその前週に配布する。
- 授業開始後 20 分経過して入室した者は欠席とする。
- 毎回の授業の初めに小テストを行う。**欠席・遅刻が多いと得点が減るので**注意すること。

## 予習復習

- 授業の前に、**テキストの該当ユニットを必ず読むこと**
- **前もって配布されたレジュメの穴埋め完成しておくこと。**

## 評価方法

毎回の小テスト（50%）、学期末試験（50%）、授業への参加・貢献によって総合的に評価する。

## テキスト

塩見昇 編、『図書館概論』、日本図書館協会、最新版（JLA 図書館情報学テキストシリーズ 3-1）8。その他必要な資料や参考文献等は、適時提示する。